

「なんで、こんなことが関係あるの？」

資料①

1966年に第3回全国高校生部落問題研究集会でされた報告より

部落出身のMさんは高校3年生になり就職試験がはじまってもなかなか希望する会社名を出せませんでした。就職したい会社があっても、採用条件に家庭環境・資産等のことがある限り出せなかったのです。担任が「〇〇会社は家庭事情をあまり問題にしないから」と受験をすすめてくれました。ところが、書類を出す段階で会社側が「畳の数が一人あたり2.5枚ないと・・・」と言ったことから、担任はMさんに「〇〇会社は予想と違い、意外と家庭条件を重視するようだから君では危ない。他の会社に変えたらどうか。」と言いました。これに対してMさんは、なぜ自分だけが希望をかなえられないのか、そんな不合理なことがあってよいのかと考え、むしろこの不合理に抵抗する意味で「やっぱり受けます。」と答えたのです。

・・・結果、Mさんと他1名の合計2名が面接に合格しました。後日会社の調査員が調査に来ました。後日、身体検査がありました。が医者からは「異常なし」と言われていたので、Mさんはもう採用されるものと期待していたところ、不採用の通知が来ました。

不採用の経緯を事実を追って考える中で、その原因が家庭調査（両親共稼ぎであること、6人家族で畳が9畳しかないこと、部落の貧しい地域生活）にあることを確認しました。

（大分高同研ニュース 第75号より）

資料②

○実際に使われた社用紙の一部

(ふりがな)氏名	_____	志望職種 ○志望のこむを	営業 (販売・モルスエン) ジュニア	のりづけ部分 写真 1.縦36~40mm 横24~30mm 2.本人単身胸から上 3.写真の裏面に氏名記入 4.のりづけ部分のみ
生年月日	年 月 日生 (満才)	事務 (営業事務・経理事務) 一般事務		
本籍地	_____	技術 研究開発・設計・試験研究・分析 コンピューター・工程制御管理 品質管理・品質保証・検査・プレス 施工・機械加工・電気保守・積 算作業・大まかな作業		
(ふりがな)本人住所	〒 _____ 電話 ()-()-()	その他 (希望勤務地)	上記の理由	
(ふりがな)親元住所 (親と別居のとき記入)	〒 _____ 電話 ()-()-()	趣味・娯楽		
学歴	年月	_____	嗜好	酒 (飲まない) 煙草 (吸わない)
	年月	_____	運動	(得意な運動・選手経験とその期間)
	年月	_____		
	年月	_____		

祖父母 (母方も)、父母、兄弟、姉妹、子供全員について (3)兄弟、姉妹で結婚した者の配偶者についても記入すること。
 (1)死亡した者は死亡年月、死亡年令、死因、生前の職業を記入すること。 (4)前述以外の同居者について記入すること。
 (2)結婚等により別居している者も記入すること。 (5)欄がたりない時は1欄につき2行記入すること。

続柄	氏名	生年月日	健否	最終出身校 (詳細に)	職業 (勤務先、職務、職位、勤続年数)	月収	現住所・電話

本人の住居 (○でかこむ)	自宅 親戚 下宿 間代又は下宿料金 滞つき、滞なし アパート 寄宿舍 その他、月 円	両親の住居 (○でかこむ)	自家 借家 間借 社(舎)宅 アパート 広さ 間 畳 家賃 月 円
------------------	--	------------------	--------------------------------------

身長 cm、体重 kg、胸部疾患の有無、内臓疾患の有無 視力左()・右()、主な既往症 年 月頃 色盲又は色弱の有・無 年 月頃 四肢運動機能障害の有・無(特病)	社 内 縁 故 者 紹 介 者 及 び	氏名	勤務先・勤務	本人との関係
--	--	----	--------	--------

主 義 信 条	社会生活上最も必要と思われる生活態度とその理由	(理由)	当 社 志 望 の 機 関 (含 当 社)	職位	就職希望先名	選考月日
	生活上信条としていること又は主義・モットーとしている事及びその理由 (ないときもその理由)					
保 証 人	信仰する宗教とその理由 (ないときはその理由)	(理由)				
	(注意) (1)身元を保障してくれる見込のある人を記入、差当つては先方の了解不要。 (2)被雇用者の身元を保証し連帯の責に任じ得る者3名。 (内直系尊族又はそれに準ずる会社が認める者1名)					
	氏名	満年令	本人との関係	職業(勤務先、職務、職位等)	勤続年数	住 所

以上の記載事項は事実と相違なくかつ重要な記載漏れは有りません。

氏名 ㊟

昭和 年 月 日
人事部長 殿

1960年代まで、多くの企業の採用条件に本人自身の資質に関係ない家庭環境や資産などが問われ、それが合否の判断に使われるなど、きびしい就職差別がありました。こうした就職差別をなくそうと、新規高卒者の就職試験に際して提出される書類は、全国高等学校統一用紙(統一応募用紙)に決められました。しかし、社用紙は使用されなくなっても、その中身が面接で質問されている実績があります。

全国で就職差別をなくす取り組みがすすめられていますが、大分県でも不適切な質問には「答えない」、社用紙や不適切な作文の題には「書かない」という「言わない・書かない」運動を、各高等学校を中心に取り組んでいます。

資料③

(応募書類 その1)

履歴書		平成 年 月 日現在		写真をはる位置 (30×40mm)
ふりがな	氏名	性別		
ふりがな	生年月日	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)		
ふりがな	現住所	〒		
ふりがな	連絡先	〒		

(連絡先欄は現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入すること)

平成 年 月	高等学校入学
平成 年 月	
平成 年 月	
平成 年 月	
平成 年 月	
平成 年 月	

(職歴にはいわゆるアルバイトは含まない)

資格等	取得年月	資格等の名称
趣味・特技		校内外の諸活動
志望の動機		
備考		

全国高等学校統一用紙(文部科学省、厚生労働省、全国高等学校校長協会の協議により平成17年度改定)